

現代社会と法律

責任者・コーディネーター	人間科学科法学分野 廣瀬 清英 講師		
担当講座・学科（分野）	人間科学科法学分野		
担当教員	廣瀬 清英 講師		
対象学年	第1学年	期間	前期
区分	講義	時間数	21時間
単位数	1単位		

■ 学習方針（講義概要等）

法の役割を、具体的な事例を通じて考察することを目的とします。法の実際の役割や機能を考察するためには、具体的事例の検討がきわめて重要と思われます。常に変化する社会において（既存の）法と具体的事例との接点は、その時代のものの考え方に影響を受ける可能性があります。そして、既存の法規を適できるのか、それとも新たな法規の定立が必要なのか、微妙な問題を含む場合もあります。

こうした観点から、本講義ではいくつかの具体的テーマについて検討し、法の役割・機能を考察してあるべき法の姿を探ることにより、法的なものの考え方の体得を目指します。

■ 一般目標（GIO）

法は人間の社会生活が円滑に行われるためのルールであり、法によって、社会の秩序が保たれ、その健全な発展が担保される。科学技術が急速に発展しグローバル化が急激に進行する現代において、社会における紛争を解決し、社会を健全に発展させていくために法の果たす役割はますます重要となっている。

そこで、社会生活をスムーズに営み、社会に関する理解を深めるため、法を知り使いこなす力（リーガル・リテラシー）と法的なもの（リーガル・マインド）の見方（リーガル・マインド）を身につけることを目標とする。

■ 到達目標（SBO）

1. 法の全体像を把握し、実定法のルール及び概念についてその意味を理解し、具体例及び定義を説明できる。
2. 事例問題の事実の概要を客観的に把握し、解決の根拠となる法ルールを発見し、それを適用して、妥当な法的解決を見出し、その理由が説明できる。
3. 法の基礎にある原理を理解し、広い視野から法を分析的に見ることができる。
4. 法的知識を活用して、紛争の予防及び生活や社会の発展のためのプランを立案し、説明することができる。

■ 講義日

【(矢) 東 2-D 講義室】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/17	水	2	法学分野	廣瀬講師	ガイダンス
4/24	水	2	法学分野	廣瀬講師	憲法（基本的人権）
5/1	水	2	法学分野	廣瀬講師	憲法（第9条）
5/8	水	2	法学分野	廣瀬講師	民法（契約）
5/15	水	2	法学分野	廣瀬講師	民法（公序良俗）
5/22	水	2	法学分野	廣瀬講師	刑法（罪刑法定主義）
5/29	水	2	法学分野	廣瀬講師	刑法（個人的法益）
6/5	水	2	法学分野	廣瀬講師	刑法（生命と自己決定権）
6/19	水	2	法学分野	廣瀬講師	刑事訴訟法（違法収集証拠）
6/26	水	2	法学分野	廣瀬講師	行政法（道路交通法）
7/3	水	2	法学分野	廣瀬講師	労働法
7/10	水	2	法学分野	廣瀬講師	環境法
7/17	水	2	法学分野	廣瀬講師	法政策（科学技術と法）
8/21	水	2	法学分野	廣瀬講師	医師法

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	岩波セレクト六法 平成25年版	笠井正俊、他	岩波書店	2012

■ 成績評価方法

平常点とテストによって総合的に評価する。

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン（Mac Book Air MC969J/A）	1	講義資料作成、プレゼン、他
講義	ノートパソコン（Apple MA895J/A）	1	講義資料作成、プレゼン、他